第2章 撮影

基本的な撮影のしかた

撮影操作の流れと、基本的な撮影方法について説明します。

操作の流れ

基本的な撮影方法は、次のような流れになります。

電源を入れる

カメラの電源スイッチを押して電源を入れます。P.28

撮影モードを選択する

撮影モード（・・・・）を選択します。ここでは、（静止画）で撮影します。P.41

記録先を選択する

内蔵メモリー（IN）またはスマートメディア（CARD）を選択します。P.42

画質モードを選択する

9種類（2272 / F N E・1120 / F N E・640 / F N E）の画質モードから選択します。P.43

被写体の位置を確認する

ファインダーまたは液晶モニターを見て被写体の位置を確認します。P.44

被写体の大きさを決める

ズームレバーを操作して、被写体の大きさを決めます。P.45

撮影する

シャッターボタンを押して撮影します。P.46

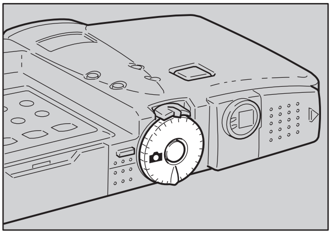
撮影モードを選択する

このカメラには、5 種類（・・・・）の撮影モードがあります。用途にあわせて撮影モードを切り替えてお使いください。

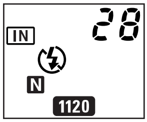
ここでは、（静止画）で撮影します。

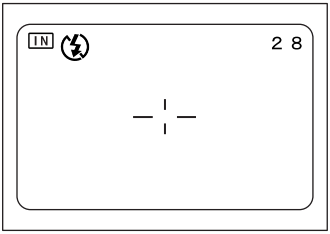
1 モードダイヤルを［］に合わせる

・P.29「モードダイヤルの使い方」



液晶パネルや液晶モニターに記録情報が表示されます。





●液晶モニターの表示の切り替え

液晶モニターの画面表示は、DISPLAY ボタンで切り替えます。DISPLAY ボタンを押すごとに、「簡易表示→詳細情報表示→グリッド表示→表示なし」に切り替わります。

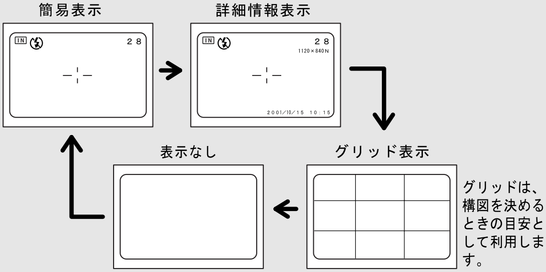
P.42「画面表示について（撮影モード）」

コラム

画面表示について（撮影モード）

DISPLAY ボタンを押すごとに、記録モード、画質モード、記録残枚数など、撮影時の情報表示を切り替えることができます。

●静止画モードのとき



＊ 音声モードや動画モードの場合、初期状態や情報表示時に[マイク]、[動画]、撮影可能時間が表示されます。

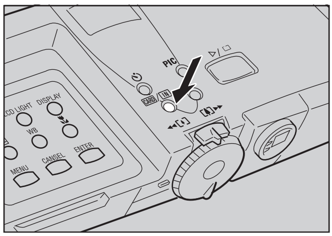
記録先を選択する

撮影したファイルの記録先を選択します。

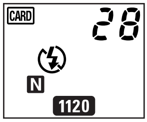
表示	記録先
IN	内蔵メモリーに記録します。
CARD	スマートメディアに記録します。

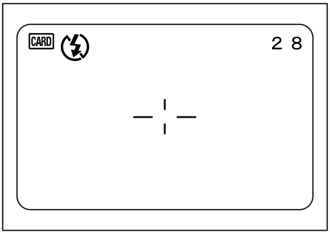
1 CARD/IN ボタンを押して、記録先（CARD・IN）を選ぶ

ボタンを押すごとに記録先が切り替わります。



選択した記録先が表示されます。





画質モードを選択する

このカメラには、次の画質モードがあります。用途にあわせて切り替えてお使いください。

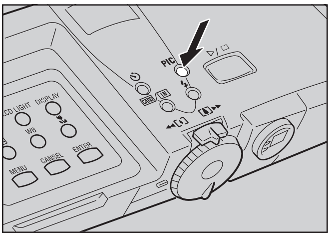
表示パネル	液晶モニター
2272 / F N E	2272×1704F、2272×1704N、2272×1704E
1120 / F N E	1120 × 840F、1120 × 840N、1120 × 840E
640 / F N E	640 × 480F、640 × 480N、640 × 480E

* 画質モードを切り替えると記録枚数が変わります。

* 初期設定は 1120 N です。

1 **PIC ボタンを押して、画質モードを選ぶ**

ボタンを押すごとに画質モードが切り替わります。



補足

・スマートメディアがセットされていると、電源を入れたときに CARD が表示されます。内蔵メモリーにするときは、モード保持を設定してください。

▶▶▶P.105「カメラの設定内容を記憶する」

補足

・非圧縮モード（NC）で撮影する場合には、撮影メニューから設定を行なってください。

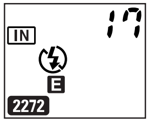
▶▶▶P.76「非圧縮モードで撮影する（非圧縮）」

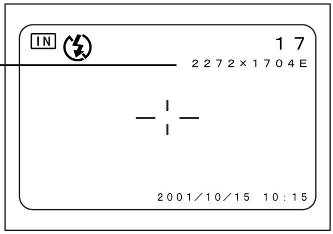
2

撮影

選択した画質モードが表示されます。

画質モードが設定されると、電源をオフにしても設定されたモードが保持されます。





画質モード表示
DISPLAY ボタンを押して詳細情報表示にしたとき
▶▶▶ P.42「画面表示について（撮影モード）」

●データの目安

サイズ（画素数）	画質（圧縮率）		
	F ファイン	N ノーマル	E エコノミー
2272 2272 × 1704	約 1.5MB/ 画面	約 726KB/ 画面	約 363KB/ 画面
1120 1120 × 840	約 470KB/ 画面	約 235KB/ 画面	約 118KB/ 画面
640 640 × 480	約 152KB/ 画面	約 72KB/ 画面	約 40KB/ 画面

補足

- 画素数は 2272 × 1704、1120 × 840、640 × 480 です。本書および本製品では、2272 、1120 、640 と表記しています。
- 記録可能枚数については、「記録枚数について（P.124）」をご覧ください。

被写体の位置を確認する

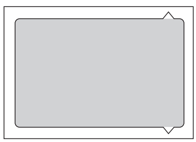
ファインダーや液晶モニターを見ながら被写体の位置を確認します。

■ファインダーの見かた

ファインダーをのぞいて被写体をとらえます。

●撮影範囲枠

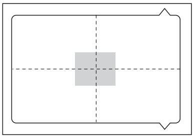
撮影したいものをファインダーの中におさめてください。



●オートフォーカス範囲

ピント合わせが行われる範囲です。

ファインダーの中央部にあり、おおよそ図のような範囲です。

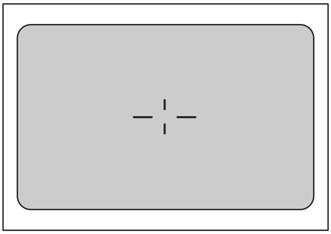


■液晶モニターの見かた

液晶モニターを見ながら被写体をとらえます。

●撮影範囲枠

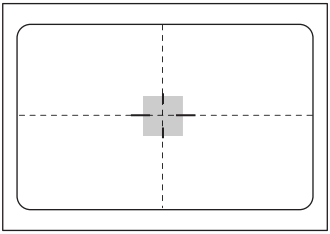
撮影したいものを液晶モニターの中におさめてください。



●オートフォーカス範囲

ピント合わせが行われる範囲です。

液晶モニターの中央部にあり、おおよそ図のような範囲です。



補足

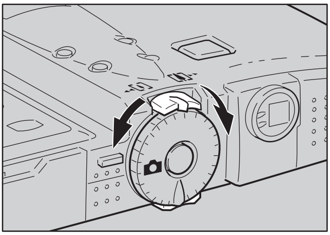
・説明のためファインダーや液晶モニター内を点線とアミかけで表現しています。実際には、点線やアミかけの表示はありません。

被写体の大きさを決める（ズーム）

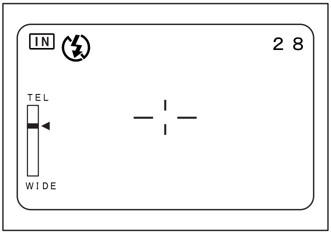
ズームレバーを操作すると、撮る人は被写体までの距離を変えずに被写体の大きさを変えることができます（35mm カメラ換算で 35 ～ 105mm）。

1 ズームレバーを[▲]側、または[▴]側に押す

[▲]側に押すと被写体が大きくなり（望遠 : TELE）、[▴]側に押すと被写体が小さくなります（広角 : WIDE）。

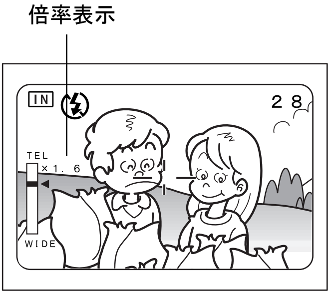


液晶モニターにズームバーが表示されます。被写体の大きさを調節してください。



■デジタルズーム機能について

撮影モードが（静止画）で画質モードが 640 の場合、最も望遠側（TELE 端）またはマクロ撮影（）のとき、さらにズームレバーを側に押し続けると、デジタルズームが働いて 1.4 倍、1.8 倍、3.6 倍に拡大して撮影できます。



デジタルズームを解除するときは、側にズームレバーを戻します。

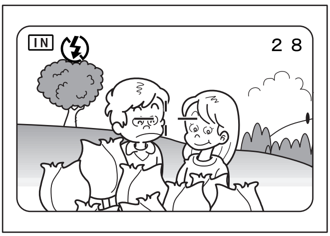
補足

- デジタルズームは、画質モードが 640 のときに使用できます。撮影モードが（音声）、（文字）、（連写）、（動画）のとき、画質モードが非圧縮（NC）のときは使用できません。
- デジタルズームのときは、液晶モニターで構図を決めて撮影してください。

撮影する（静止画モード）

カメラが動かないように正しく構えて撮影してください。

1 撮影したいものにカメラを向ける



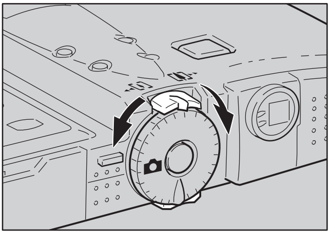
補足

- 被写体までの距離が約 24cm より近いときは、マクロ撮影してください。

P.62「至近距離で撮影する（マクロ撮影）」

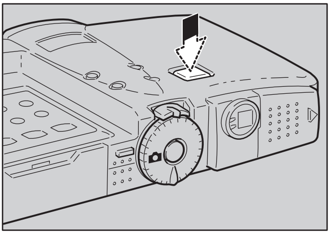
2 ズームレバーを操作して、被写体の大きさを決める

・P.44「被写体の位置を確認する」
・P.45「被写体の大きさを決める（ズーム）」

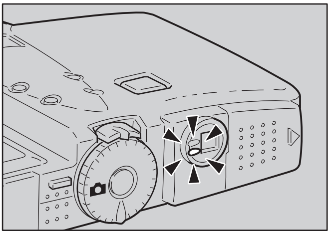


3 指の腹でシャッターボタンを軽く押す

シャッターボタンは2段階になっています。軽く押すと（半押し状態）、オートフォーカスが作動し、ピント合わせが行われます。手ブレがおきないようしっかりと固定してください。



被写体にピントが合うとオートフォーカスランプ（緑）が点灯し、液晶モニターの -¦- が緑色に変わります。この時点でピント、露出、ホワイトバランスが固定されます。



補足

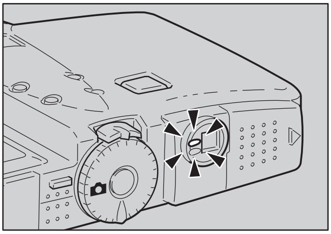
- オートフォーカスランプが点滅し、液晶モニターの -¦- が赤色に変わったときはピントが合いません。フォーカスロックで撮影してください。P.49「フォーカスロック撮影」
- 「スローシャッター」と表示されたときは、手ブレすることが多いので、フラッシュで撮影してください。P.54「フラッシュモードを変更する」
- 「!AE」と表示されたときは露出オーバーですが、そのまま全押しして撮影できます。

補足

・フラッシュ充電中はフラッシュランプが点滅し、液晶モニターの表示が消えます。このときは撮影できません。

●フラッシュランプ

フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを軽く押したときにフラッシュランプ（赤）が点灯します。

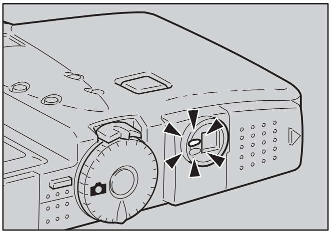


補足

・「ピッ」というブザー音が鳴る前にカメラを動かすと、手ブレすることがあります。
・音声付きで撮影できます。▶▶▶ P.53「音声付き静止画 / 文字を撮影する（音声付き撮影）」

4 そのまま指を離さずに、シャッターボタンを静かに押しきる

「ピッ」というブザー音が鳴り、撮影画像が表示され、記録されます。

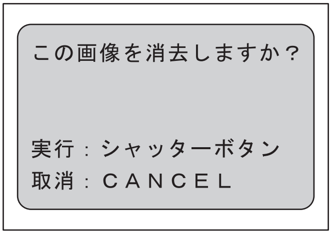


記録を中止するとき

シャッターボタンを押し切ると撮影され、撮影画像が液晶モニターに表示されます。このとき、🗑ボタンを押し、確認のメッセージが表示されたらシャッターボタンを押します。

撮影画像の表示時間は、任意に設定できます。

▶▶▶ P.106「画像確認時間を変更する」



重要

・記録中は、電池ぶたやカードカバーを開けたり、AC アダプター（別売り）を取り外さないでください。
・撮影画像の記録中は、オートフォーカスランプやフラッシュランプが点滅します。記録が終了するまで、モードダイヤルを回したり、電源を切ったりしないでください。
なお、撮影画像の記録中は、CARD / IN ボタンの切り替えや、MENU ボタンを押してメニュー画面を表示することはできません。

補足

・カメラの電源がオンのとき、設定された時間カメラの操作（ボタン）をしないと、オートパワーオフが働き、電源が切れます。撮影するまでに時間がかかる場合は、オートパワーオフが働かないように設定してください。▶▶▶ P.107「オートパワーオフの設定を変更する」
・カメラを長時間使用するときは、予備のバッテリーまたは AC アダプター（別売り）を用意してください。

■ピントの合いにくい被写体

次のような被写体は、ピントが合わせられないことがあります。

・コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
・横線だけで、凹凸もないもの
・動きの速いもの
・低輝度（暗いところ）のもの
・強い逆光および反射光があるもの
・蛍光灯などのちらつきのあるもの

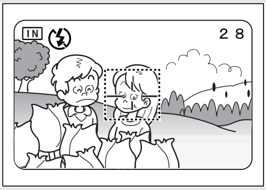
このような被写体を撮影するときは、写したい被写体と同じ距離にある違う被写体にピントを固定してから撮影してください。P.49「フォーカスロック撮影」、P.64「フォーカスを切り替えて撮影する（フォーカス撮影）」

コラム

フォーカスロック撮影

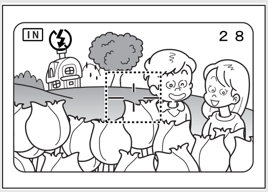
通常は、ファインダーや液晶モニターのオートフォーカス範囲に見える被写体にピントが合います。ピントを合わせたい被写体がこの条件に合わない場合、その被写体にはピントが合わずボケてしまうことがあります。このようなときにフォーカスロックで撮影します。

1. **ピントを合わせたい被写体にオートフォーカス範囲を合わせる**



2. **シャッターボタンを軽く押し、オートフォーカスランプが緑色に点灯し、液晶モニターの -¦- が緑色に変わったら、指をそのままの位置で止める**
   この時点でピント、露出、ホワイトバランスが固定されます。

3. **指を止めたままカメラを動かして構図を決め、シャッターボタンを押しきる**



いろいろな撮影機能

ここでは、いろいろな撮影機能について説明します。撮影モードによって利用できる機能が異なります。下表を参考にしてください。

撮影機能 ＼ 撮影モード	静止画	音声	文字	連写	動画
音声付き撮影 P.53	○	×	○	×	×
フォーカス P.64	○	×	○	○	○
フラッシュ光量 P.56	○	×	○	×	×
赤目モード P.66	○	×	×	×	×
ISO 感度設定 P.67	○	×	○	○	×
日付入れ撮影 P.67	○	×	○	○	×
分割撮影 P.68	○	×	×	×	×
シャープネスモード P.71	○	×	×	○	×
モノトーンモード P.72	○	×	×	○	○
ネガモード P.73	○	×	×	○	○
インターバル P.74	○	×	○	×	×
オートブラケット P.75	○	×	×	×	×
非圧縮 P.76	○	×	×	×	×
測光方式 P.77	○	×	×	○	×
S モード P.78	○	×	○	○	×
長時間露光 P.79	○	×	×	×	×

文字を撮影する（文字モード）

文字を記録します。文字などの記録に適した処理を行い、黒と白の２つの値だけで記録します(通常の1/3以下のデータ量で記録できます）。黒と白の濃淡は、文字をより読みやすくするために 5 段階（◑ -2、◑ -1、0（表示なし）、◑ +1、◑ +2）で設定できます。

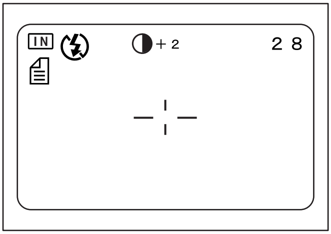
1 モードダイヤルを［文字］に合わせる

2 ◀ボタン・▶ボタンを押して黒と白の濃度を調整する

－側にすると、黒の濃度が薄くなり、＋側にすると、黒の濃度が濃くなります。

3 シャッターボタンを押す

撮影画像が表示された後、記録されます。



補足

- 画質モードは、2272、1120 のみ選択できます。
- 撮影画像が液晶モニターに表示されているとき、🗑ボタンを押すと記録を中止できます。▶▶▶ P.46「撮影する（静止画モード）」
- 音声付きで撮影できます。▶▶▶ P.53「音声付き静止画 / 文字を撮影する（音声付き撮影）」

音声を記録する（音声モード）

音声を記録します。記録先の残り容量に応じて、録音できる時間を表示します。

重要

- マイクは、カメラ前面にあります。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- 携帯電話などを使用する場合は、雑音防止のため 30cm 以上離してください。

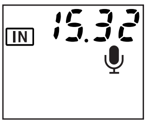
1 モードダイヤルを［🎙］に合わせる

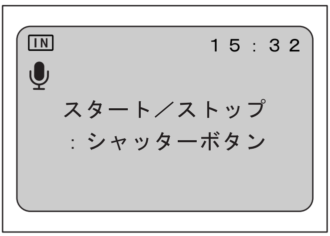
液晶モニターや液晶パネルに、録音可能な時間が表示されます。

2 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は🎙が点滅し、液晶パネルに録音時間が表示されます。

再度シャッターボタンを押すと、録音を中止できます。





補足

- 録音 / 録音可能時間が 100 分を越える場合、液晶モニターと液晶パネルには、秒の 1 桁目は表示されません。

2 撮影

連続して撮影する（連写モード）

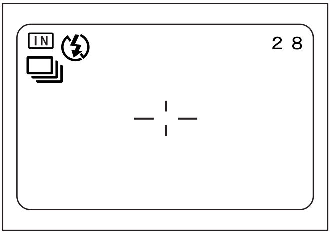
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。シャッターチャンスを逃がすことなく撮影したいときに便利です。

1 モードダイヤルを［ ］に合わせる

2 シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。

シャッターボタンから指を離すと連続撮影は停止します。



補足

・連写モードでは、フラッシュは発光しません。
・連写モードでは、非圧縮（NC）は選べません。
・シャッターボタンを押したときの状態で、フォーカスや露出補正、ホワイトバランスが固定されます。
・撮影中、液晶モニターに撮影画像は表示されません。

補足

・ファイル名が RIMG9999 になった場合は、連写モードでは撮影できません。記録先のスマートメディアまたは内蔵メモリーをフォーマットしてから撮影してください。

●連続撮影できる最大枚数

画質モードによって、連続撮影できる最大枚数は次のようになります。

サイズ（画素数）	画質（圧縮率）		
	F ファイン	N ノーマル	E エコノミー
2272 2272 × 1704	約 3 枚	約 7 枚	約 15 枚
1120 1120 × 840	約 11 枚	約 23 枚	約 45 枚
640 640 × 480	約 35 枚	約 67 枚	約 123 枚

＊1 回に連続して撮影できる最大枚数です。続けて撮影できる枚数は、スマートメディアや内蔵メモリーの容量によって変わります。

動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。記録先の残り容量に応じて、撮影できる時間が表示され、音声も同時に記録されます。

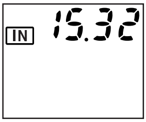
重 要

- マイクは、カメラ前面にあります。
- 携帯電話などを使用する場合は、雑音防止のため 30cm 以上離してください。
- パソコン上で動画を再生する場合、QuickTime4.1.2 をインストールしてから動作させてください。

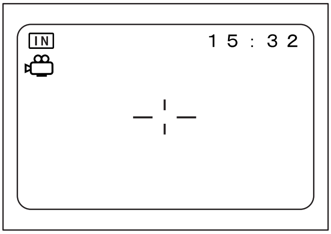
1 モードダイヤルを［🎥］に合わせる

液晶モニターや液晶パネルに、撮影可能な時間が表示されます。

2 シャッターボタンを押す



撮影が開始されます。撮影中は、液晶パネルに撮影時間が表示されます。



再度シャッターボタンを押すと、撮影を中止します。

補 足

- 動画撮影中は、ズームは作動しません。
- 動画モードでは、フラッシュは発光しません。
- シャッターボタンを軽く押したときの状態で、フォーカスや露出、ホワイトバランスが固定されます。

音声付き静止画 / 文字を撮影する（音声付き撮影）

静止画または文字と音声を約 10 秒記録します。撮影状況やコメントを添えるときに利用します。

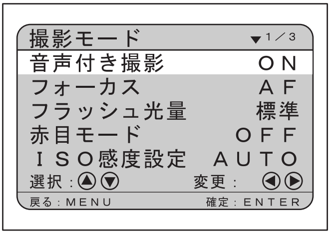
重 要

- マイクは、カメラ前面にあります。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- 携帯電話などを使用する場合は、雑音防止のため 30cm 以上離してください。

1 モードダイヤルを［📷］または［📄］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して[音声付き撮影]を選ぶ

3 ◀ボタン・▶ボタン押して［ON］を選び、ENTER ボタンを押す

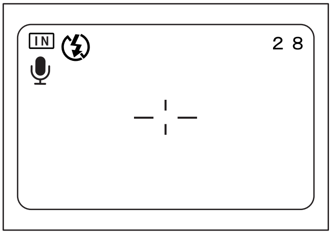


補足
・[OFF]を選択すると、音声付き撮影を解除できます。

4 MENU ボタンを押す

5 シャッターボタンを押す

撮影画像が表示されたあと、音声が約 10 秒記録されます。音声記録中は🎤が点滅します。



補足
・シャッターボタンを押したときの状態で、フォーカスや露出、ホワイトバランスが固定されます。
・撮影画像の記録後に録音を開始します。このとき、液晶モニターや液晶パネルの🎤の点滅で確認してください。

補足
・音声付き撮影の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」
・記録したファイルに音声を追加することもできます。
▶▶▶ P.84「再生中のファイルに音声を追加する（アフレコ機能）」

フラッシュモードを変更する

このカメラでは、4 種類のフラッシュモードがあります。撮影状況に合わせてモードを切り替えてお使いください。

表示	モード名	内　容
(発光禁止アイコン)	発光禁止	暗いところでもフラッシュは発光しません。フラッシュ撮影が禁止されているときや、室内の照明を利用して撮影するときに使用します。
ϟA	オート	暗い場所や逆光のときに、自動的にフラッシュを発光します。
ϟ 点灯	強制発光	逆光や強い光の下で人物を撮影すると、顔に強い影ができることがあります。このような影をやわらげたいときに使用します。明るさに関係なく、常にフラッシュが発光します。

表示	モード名	内　　容
ϟ 点滅	スローシンクロ	フラッシュを発光して撮影する際、被写体にフラッシュの光があたり、背景も遅いシャッタースピードで撮影できます。室内パーティーなど、背景の雰囲気を活かして被写体をきれいに撮影したいときに使用すると、フラッシュを発光させたときに、背景だけが暗くなるのを軽減します。

* 初期設定は、Ⓧ（発光禁止）です。

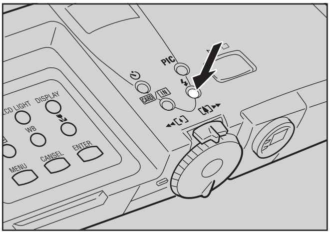
フラッシュの光が届く距離

フラッシュを発光させて撮影する場合、撮影距離は約 0.6 ～ 2.5m です。被写体にフラッシュの光が届かないと、被写体が暗く撮影されます。

1 モードダイヤルを［📷］または［📄］に合わせる

2 ϟ ボタンを押して、フラッシュモード（Ⓧ・ϟA・ϟ 点灯・ϟ 点滅）を選ぶ

ボタンを押すごとにフラッシュモードが切り替わります。



選択したフラッシュモードが表示されます。

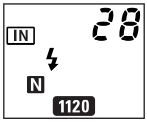
オートの場合は、液晶モニターに ϟA のみが表示され、液晶パネルには表示されません。

補足

・次の場合、フラッシュは発光しません。
撮影モードが🎤(音声)、❏(連写)、🎥(動画)のとき
ホワイトバランスが☀(屋外)、☁(曇天)、☼(白熱灯)、☰(蛍光灯)のとき
マクロ撮影(🌷)のとき
オートブラケット撮影時

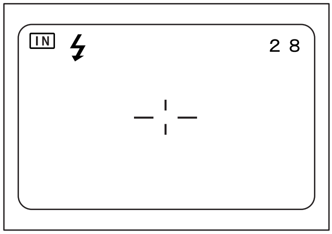
2 撮影

3 シャッターボタンを押す



フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを軽く押したときにフラッシュランプ（赤）が点灯します。

フラッシュ充電中はフラッシュランプが点滅し、液晶モニターの表示が消えます。このときは撮影できません。



重 要

- **近い被写体（約 0.6m 以下）をフラッシュ撮影すると、フラッシュの光が赤く写ることがあります。また、露出オーバーになるため、被写体が白っぽく撮影されることがあります。このようなときは、発光禁止モードで撮影してください。**
- **暗いところでは自動的にシャッタースピードが遅くなります。カメラブレが起きないようにしっかり構えるか、三脚を使用して撮影してください。特に望遠側（[♠]）では、カメラブレにご注意ください。**

補 足

- フラッシュモードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」
- フラッシュを利用して撮影するとき、液晶モニターが暗く見える場合は、広角側で撮影してください。望遠側ではピントが合いにくいことがあります。
- 赤目モードを利用すると、赤目を軽減して撮影できます。
▶▶▶ P.66「赤目モードで撮影する（赤目モード）」

■フラッシュの光量を調整する

フラッシュが発光するとき（ϟA・ϟ 点灯・ϟ 点滅）、フラッシュの光量を調整して撮影ができます。

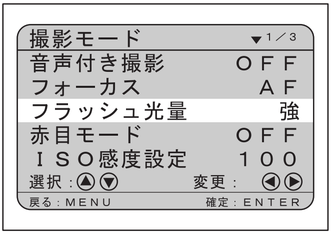
1 モードダイヤルを［●］または［▯］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［フラッシュ光量］を選ぶ

補 足

- フラッシュ光量の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

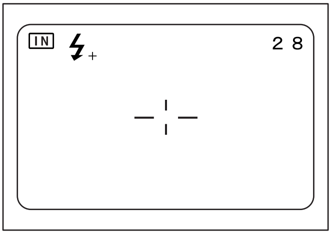
3 ◀ボタン・▶ボタンを押して光量（標準・強・弱）を選び、ENTER ボタンを押す



4 MENU ボタンを押す

液晶モニターには、強のときは＋、弱のときはーが表示されます。標準のときは表示はありません。

5 シャッターボタンを押す



露出を補正する

通常、撮影範囲の中央に被写体があると自動で逆光補正を行うので、このまま撮影することができます。しかし、背景と被写体との間に極端な明暗差がある場合、被写体の露出がアンダー（暗い）やオーバー（白っぽい）になってしまいます。このようなときに露出補正をします。また、意図的に露出アンダーやオーバーな撮影をしたいときにも使用できます。

●露出補正の範囲

± 2.0EV（0.25EV ステップで設定）

●逆光撮影の場合

背景が非常に明るい場合など、被写体は露出アンダーになります。このようなときは＋側に数値を増やして補正します。

重 要

・逆光のとき、撮影範囲の中央に被写体がないときは、カメラは逆光状態と判断しません。露出を補正してください。

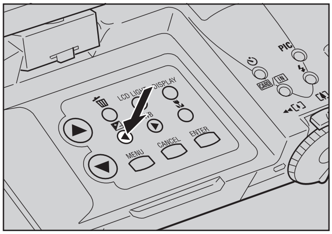
●白っぽい被写体を写す場合

全体に白っぽい被写体を写すときは、全体的に露出アンダーになり、人物などは暗く、白いものはグレーのように写ります。このようなときは＋側に数値を増やして補正します。

●黒っぽい被写体を写す場合

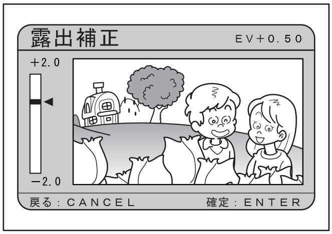
全体に黒っぽい被写体を写すときは、全体的に露出オーバーになり、人物などは白く、黒いものはグレーのように写ります。このようなときは－側に数値を増やして補正します。スポットライトが当たった人物を写すときなども同様です。

1 モードダイヤルを［📷・▭・🎥］のいずれかに合わせ、±ボタンを押す

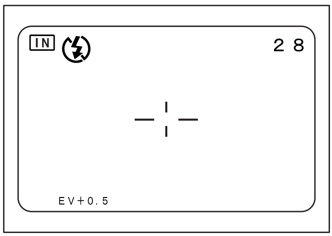


2 ▲ボタン・▼ボタンを押して補正値を変更し、ENTER ボタンを押す

▲ボタン・▼ボタンを押し続けると連続して動きます。



3 シャッターボタンを押す



補足

- 露出補正の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」
- 設定した補正値を基準に -0.5EV、0、+0.5EV の補正値で、連続して 3 コマ撮影できます。設定した補正値の確認に便利です。▶▶▶ P.75「オートブラケット撮影のしかた（オートブラケット）」

ホワイトバランスを変更する

ホワイトバランスモードは、どんな光源の下でも自然の色合いで撮影できるようホワイトバランスを調整する機能です。通常はオートモードで撮影します。

オートモードのときは、どんな光源の下でも白いものを白く撮影するよう、白色系の部分を基準にホワイトバランスを自動的に調整しています。そのため、被写体に白色系の部分が少ない場合や暗い場合は、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときに、ホワイトバランスモードを変更して撮影してください。

表示	モード名	内　容
AUTO	**オート**	カメラにまかせて自動で調整します。
☀	**屋外**	屋外の撮影で、ホワイトバランスが合いにくいときに使用します。
☁	**曇天**	曇天や日陰などの撮影で、ホワイトバランスが合いにくいときに使用します。
	白熱灯	白熱灯下の撮影で、ホワイトバランスが合いにくいときに使用します。
	蛍光灯	蛍光灯下の撮影で、ホワイトバランスが合いにくいとき使用します。
M	**マニュアルホワイトバランス**	ホワイトバランスを最適に設定したり、任意の色に調整することができます。

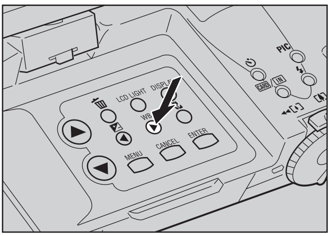
＊ 初期設定は、オートモードです。

オートホワイトバランスの苦手な被写体

・単一色な被写体
・複数の光源のある被写体

■オート（AUTO）、屋外（☀）、曇天（☁）、白熱灯（ ）、蛍光灯（ ）を選択する

1 モードダイヤルを［・・］のいずれかに合わせ、WBボタンを押す



補足

・ホワイトバランスの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
▶▶▶P.105「カメラの設定内容を記憶する」

重要

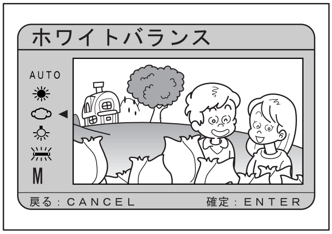
・同じ被写体を撮影しても、天候や光源（白熱灯や蛍光灯）の種類により色の度合いが異なります。

補足

・☀（屋外）、☁（曇天）、💡（白熱灯）、≡（蛍光灯）のときは、フラッシュは発光しません。

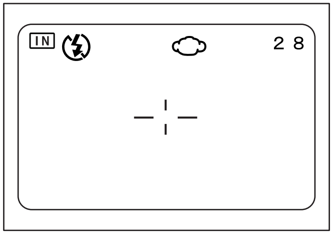
2

▲ボタン・▼ボタンを押してホワイトバランス（AUTO・☀・☁・💡・≡）を選び、ENTER ボタンを押す



3

シャッターボタンを押す



補足

・オートの場合、被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときは、被写体に白色系のものを入れて撮影してください。

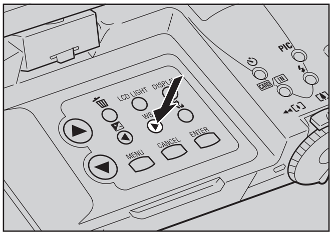
■マニュアルホワイトバランス（M）を選択する

補足

・マニュアルホワイトバランス設定時はフラッシュを発光して撮影できます。

1

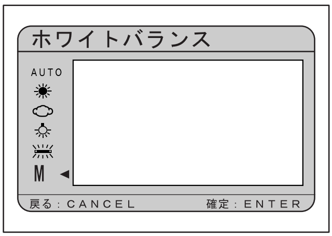
モードダイヤルを［・・］のいずれかに合わせ、WB ボタンを押す



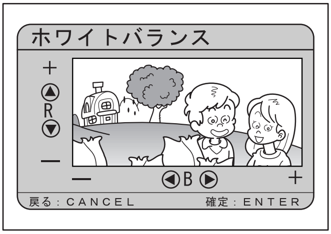
2

▲ボタン・▼ボタンを押してマニュアルホワイトバランス（M）を選び、白の被写体が画面いっぱいになるようにカメラを向け、ENTER ボタンを押す

この時点で最適なホワイトバランスが設定されます。



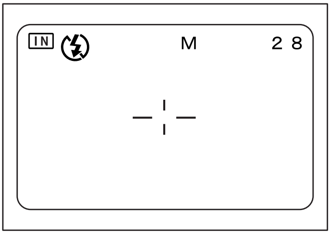
3 設定されたホワイトバランスの状態でよければ、ENTER ボタンを押す



●ホワイトバランスの微調整や色の変更

変更する場合は、▲ボタン・▼ボタン、◀ボタン・▶ボタンを押してから ENTER ボタンを押します。画面上の「▲R▼　◀B▶」表示が消えるまで微調整できます。

4 シャッターボタンを押す

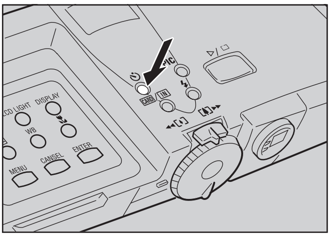


セルフタイマーを使って撮影する

撮影者自身も入った記念撮影などを行うときにセルフタイマーを使用すると便利です。カメラを三脚や水平な台の上に固定して撮影してください。

1 モードダイヤルを［📷］または［▤］に合わせ、⏲ボタンを押す

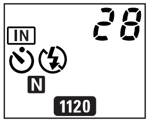
セルフタイマーが設定されます。

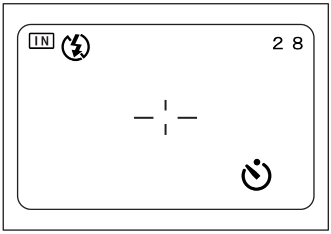


補足

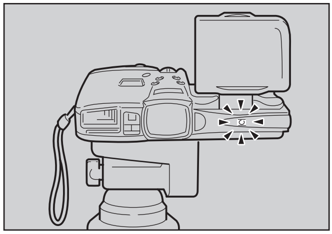
・再度⏲ボタンを押すか、モードダイヤルを回したとき、または電源をオフにすると、セルフタイマーを中止できます。

液晶モニターや液晶パネルにマークが表示されます。





2 構図を決め、カメラを固定したらシャッターボタンを押す



セルフタイマーランプが点灯し、セルフタイマーがスタートします。約 10 秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる約 2 秒前からセルフタイマーランプが点滅に変わり、「ピピピピッ」というブザー音が鳴ります。

シャッターが切れると、モードが解除されます。

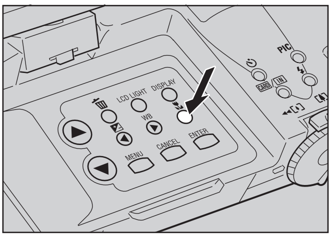
補足

・フラッシュが充電中のときは、充電が完了してからセルフタイマー撮影を開始します。
・シャッターボタンを押した時点でピントは固定されます。

至近距離で撮影する（マクロ撮影）

被写体に近づいてクローズアップで撮影することをマクロ撮影といいます。被写体までの距離が約 24cm より近いときはマクロ撮影してください。

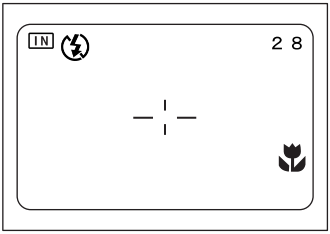
1 モードダイヤルを［・・・］のいずれかに合わせ、ボタンを押す



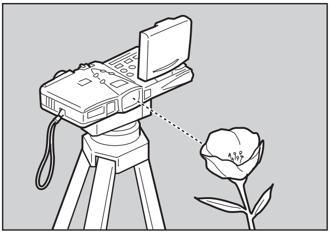
補足

・再度ボタンを押すか、モードダイヤルを回したとき、または電源をオフにすると、マクロ撮影を中止できます。

液晶モニターに🌷マークが表示されます。



2 被写体に近づいて構図を決め、シャッターボタンを軽く押してピントを合わせる



3 シャッターボタンを押す

重 要

・マクロ撮影ではピント合わせの範囲がせまいため、カメラが動くとピントが外れることがあります。カメラが動かないように、三脚などでしっかりとカメラを固定して撮影してください。
・ファインダーでの視野と撮影される範囲が大きくずれますので、液晶モニターまたはカメラをテレビに接続して、撮影範囲を確認しながら撮影してください。

コラム

シャッターボタンについて
三脚などでカメラを固定したためシャッターボタンが押しにくいときは、リモートコントローラー（別売り）を使用すると便利です。

補足

・マクロ撮影では、フラッシュは発光しません。

フォーカスを切り替えて撮影する（フォーカス撮影）

補足

・フォーカスの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。

▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

このカメラでは4種類のフォーカス撮影ができます。

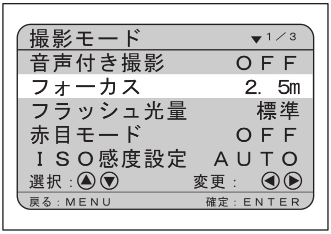
表示	モード名	内　　容
（表示なし）	オート（AF）	カメラが自動でピントを合わせます。
MF	マニュアル	手動でピントを合わせて撮影できます。
2.5m	2.5m	約 2.5m の距離の被写体にピントを合わせて撮影できます。
∞	無限	風景などの遠くにある被写体にピントを合わせて撮影できます。

■オート（AF）、2.5m、無限（∞）に設定する

1 モードダイヤルを［・・・］のいずれかに合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［フォーカス］を選ぶ

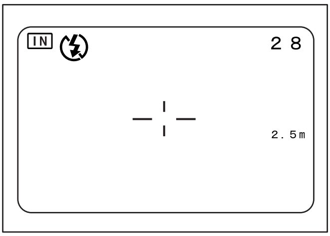
3 ◀ボタン・▶ボタンを押して［AF、2.5m、∞］を選び、ENTER ボタンを押す



4 MENU ボタンを押す

液晶モニターに 2.5m、∞が表示されます。
オート（AF）の場合は表示されません。

5 シャッターボタンを押す

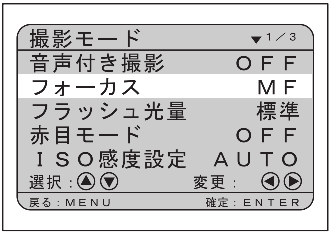


■マニュアル（MF）に設定する

1 モードダイヤルを［ ・ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［フォーカス］を選ぶ

3 ◀ボタン・▶ボタンを押して［MF］を選び、ENTER ボタンを押す



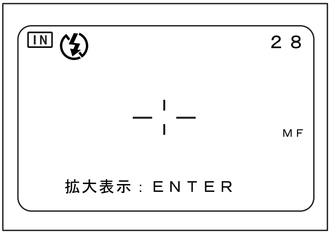
4 MENU ボタンを押す

液晶モニターにＭＦ が表示されます。

5 ▲ボタン・▼ボタンを押してピントを合わせ、シャッターボタンを押す

被写体の大きさを変えるときは、ズームレバーを押します。

ENTER ボタンを押すと、被写体の中央部分が拡大表示されピント調整がしやすくなります。



赤目モードで撮影する（赤目モード）

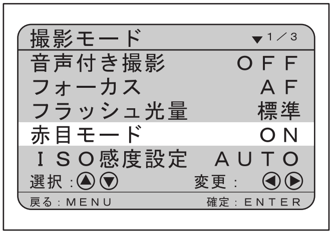
暗いところでフラッシュが発光したとき、目が赤く写ることがあります。この現象を「赤目」といいます。赤目を軽減したいときに、このモードを使用します。

シャッターが切れる前にフラッシュが数回発光し、これにより赤目が軽減されます。

1 モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［赤目モード］を選ぶ

3 ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTER ボタンを押す



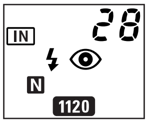
補足
・[OFF]を選択すると、赤目モードを解除できます。

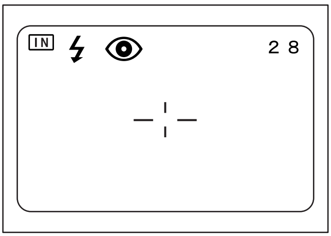
4 MENU ボタンを押します。

液晶パネルや液晶モニターに 👁 マークが表示されます。

5 シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押すと、フラッシュが数回連続して予備発光したあと、本発光してシャッターが切れます。





補足
・フラッシュモードが（発光禁止）のときは利用できません。
・赤目モードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

重要
・シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまで、約 1 秒かかります。カメラをしっかりと構えて撮影してください。

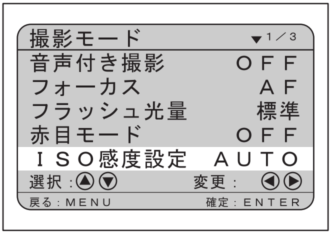
撮影感度を変更する（ISO 感度設定）

撮影感度を切り替えて撮影できます。

1 モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［ISO 感度設定］を選ぶ

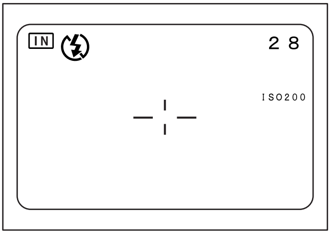
3 ◀ボタン・▶ボタンを押して撮影感度（AUTO・200・400・800）を選び、ENTER ボタンを押す



4 MENU ボタンを押す

液晶モニターに撮影感度が表示されます。撮影感度が AUTO のときは表示されません。

5 シャッターボタンを押す



補足

・撮影感度の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。

▶▶P.105「カメラの設定内容を記憶する」

日付を入れて撮影する（日付入れ撮影）

日付を入れて撮影するときに使用します。

1 モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［日付入れ撮影］を選ぶ

補足

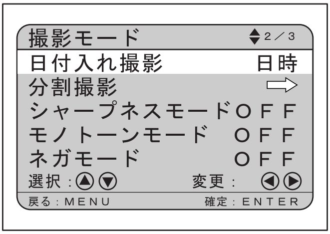
・SET メニューで日付を設定していない場合は、機能しません。日付を設定してください。また、日付の表示形式は、日付設定で選択した表示形式になります。

▶▶P.34「日付・時刻を設定する」

補足
・[OFF] を選択すると、日付入れ撮影を解除できます。

3

◀ボタン・▶ボタンを押して日付の種類（日付・日 時）を 選 び、ENTER ボタンを押す



日付のときは年 / 月 / 日（2001/10/15）、日時のときは年 / 月 / 日 時 : 分（2001/10/15 10 : 15）が表示されます。

4

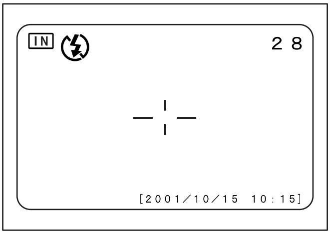
MENU ボタンを押します。

日付入れ撮影が設定されると、液晶モニター上の日付表示に［］がつきます。

補足
・日付入れ撮影の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
P.105「カメラの設定内容を記憶する」

5

シャッターボタンを押す



画面を 2 分割して撮影する（分割撮影）

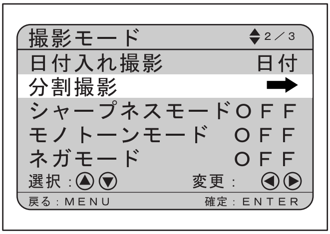
画面を上下あるいは左右に撮影範囲を分割します。

モード名	内　　容
新規作成	撮影範囲を 2 分割して撮影します。2 回の撮影で 1 ファイルになります。分割した範囲の片側だけを撮影することもできます。
追加撮影	記録されている画像を呼び出して、その画像の指定した分割位置に撮影を追加します。別ファイルとして保存します。

補足
・分割撮影は、液晶モニターで行ってください。
・次の場合、分割撮影は使用できません。
撮影モードが（音声）、（文字）、（連写）、（動画）のとき
2272（2272 × 1704）、非圧縮（NC）のとき
音声付き撮影のとき
・分割撮影設定後は、デジタルズーム、オートブラケット撮影、マニュアルフォーカス、ホワイトバランス設定、露出補正はできません。

1 モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENU ボタンを押す

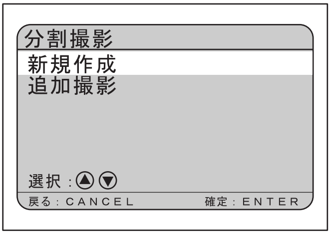
2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［分割撮影］を選び、ENTER ボタンを押す



3 ▲ボタン・▼ボタンを押して設定する項目を選び、ENTER ボタンを押す

設定する項目によって操作が異なります。

- 新規作成モードで撮影する P.69
- 追加撮影モードで撮影する P.70

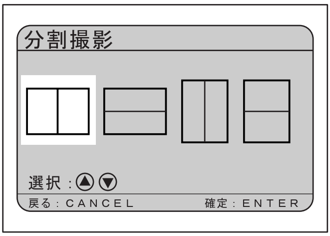


■新規作成モードで撮影する

1 分割撮影メニューで［新規作成］を選び、ENTER ボタンを押す

2 ◀ボタン・▶ボタンを押して分割する撮影方法を選び、ENTER ボタンを押す

分割撮影の方法は、通常の撮影（横撮り）をする場合は右側の 2 つから、カメラを縦にして撮影（縦撮り）する場合は、左側の 2 つから選択してください。



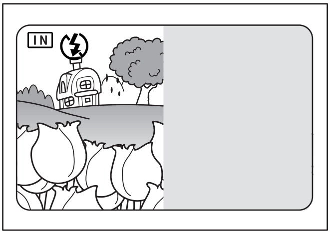
補足

・片側画面の撮影終了後、CANCEL ボタンを押すと、その状態で記録され、追加撮影モードで再度撮影することができます。▶▶▶ P.70「追加撮影モードで撮影する」

3 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押して、撮影開始位置を選ぶ

4 シャッターボタンを押す

続けて2回目の撮影を行います。



■追加撮影モードで撮影する

1 分割撮影メニューで［追加撮影］を選び、ENTER ボタンを押す

記録されている画像が 6 画面表示で表示されます。

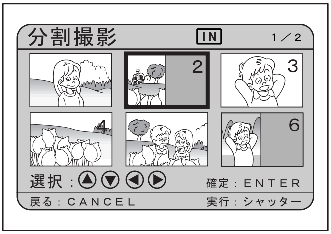
補足

・分割撮影の 6 画面表示で、追加撮影できないファイルは黒色で表示されます。

・撮影モードが文字モード、非圧縮 (NC) で撮影された画像は追加撮影できません。

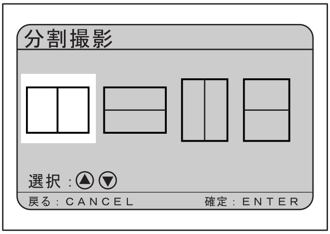
2 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押して追加撮影する画像を選択し、ENTER ボタンを押す

太枠で囲まれている画像は選択画像を表します。



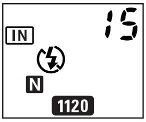
3 ◀ボタン・▶ボタンを押して分割する撮影方法を選び、ENTER ボタンを押す

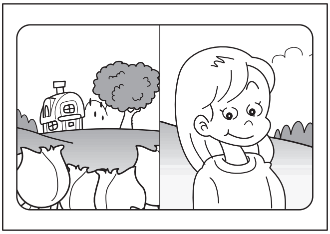
選択された画像が分割撮影画面の片側に表示されます。



4 ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押して、撮影位置を選ぶ

5 シャッターボタンを押す





シャープネスモードで撮影する（シャープネスモード）

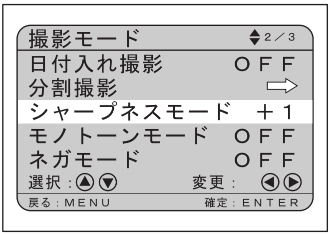
被写体の輪郭の強調レベルを 3 段階（-1、0、+1）に調整して撮影します。

1 モードダイヤルを［ ］または［ ］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ボタン・ ボタンを押して［シャープネスモード］を選ぶ

3 ボタン・ ボタンを押してレベル（-1・+1）を選び、ENTER ボタンを押す

－側（-1）にすると、被写体の輪郭をなめらかにして撮影します。＋側（+1）にすると、被写体の輪郭を強調して撮影します。



4 MENU ボタンを押す

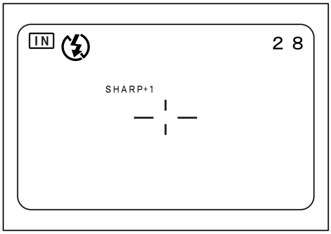
補足

・シャープネスモードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。P.105「カメラの設定内容を記憶する」

補足

・［OFF］を選択すると、シャープネスモードを解除できます。

5 シャッターボタンを押す



モノトーンモードで撮影する（モノトーンモード）

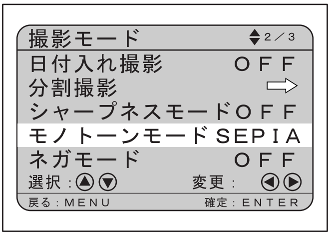
モノクロまたはセピアで撮影します。

1 モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［モノトーンモード］を選ぶ

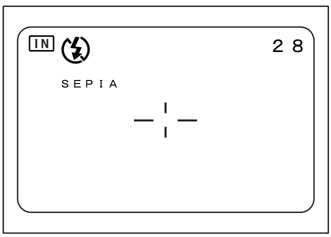
3 ◀ボタン・▶ボタンを押してモノトーンモード（B&W・SEPIA）を選び、ENTER ボタンを押す

モノクロで撮影するときは［B&W］、セピアで撮影するときは［SEPIA］を選びます。



4 MENU ボタンを押す

5 シャッターボタンを押す



補足

・ネガモードが［ON］のときは、設定できません。
・モノトーンモードを選択すると、ホワイトバランスモードは機能しません。
・［OFF］を選択すると、モノトーンモードを解除できます。

補足

・モノトーンモードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

ネガモードで撮影する（ネガモード）

現像した35mmフィルムのネガを、市販のライトボックスなどを使い、ネガの画像をポジの画像に反転して撮影します。

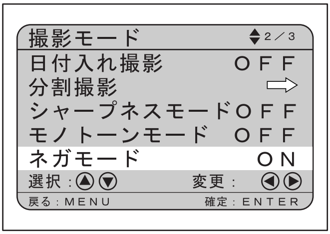
重 要

・ライトボックスの光に反射して、本機が写り込む場合があります。撮影したいネガの周囲を黒いもので覆うようにしてください。

1 モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［ネガモード］を選ぶ

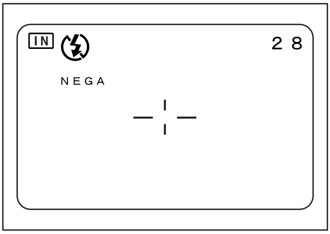
3 ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTERボタンを押します。



4 MENU ボタンを押します。

5 シャッターボタンを押して撮影します。

必要に応じてM（マニュアルホワイトバランス）や露出補正で適正な画像にして撮影してください。



補足

・ネガモードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。

▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

補足

・［OFF］を選択すると、ネガモードを解除できます。

2 撮影

インターバル撮影のしかた（インターバル）

設定した時間間隔で自動的に撮影します。時間間隔は 30 秒～ 3 時間 00 分 00 秒の範囲で、30 秒間隔で設定します。

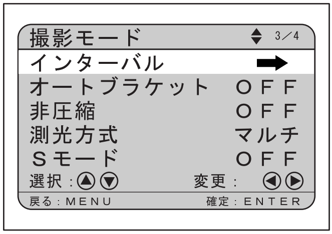
例えば、時間間隔を 1 時間に設定すると、1 時間ごとにシャッターが切れ、記録先の内蔵メモリーまたはスマートメディアの容量がなくなるまで連続して撮影します。

重 要

- バッテリーを使用した撮影では、インターバル撮影の途中でバッテリー切れになってしまうことがあります。AC アダプター（別売り）を使用して撮影してください。
- インターバル撮影を行う際、スマートメディアや内蔵メモリーの撮影可能枚数を確認してから設定してください。
- AC アダプター使用時でも、インターバル撮影開始後、24 時間でオートパワーオフが働き、カメラの電源が切れます。

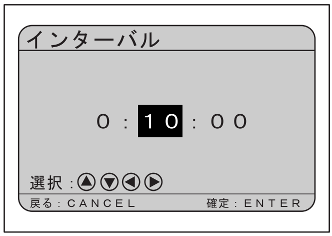
1 モードダイヤルを［📷］または［🗒］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［インターバル］を選び、ENTER ボタンを押す



3 ◀ボタン・▶ボタンを押して、設定したい部分を反転させる

4 ▲ボタン・▼ボタンを押して、反転している数字を変更する



▲ボタンを押すと数字が進み、▼ボタンを押すと数字が戻ります。ボタンを押し続けると早く動きます。

手順 ***3***、***4*** の操作を繰り返して、必要な部分を設定します。30 秒間隔で設定できます。

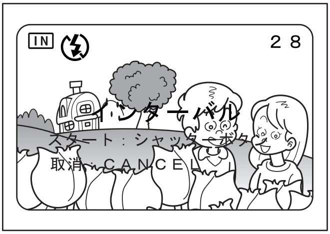
補 足

- 「インターバル」の文字が点灯しているときは、CANCEL ボタンを押すとインターバル撮影を中止できます。また、モードダイヤルを回すか電源をオフにしても中止できます。

5 秒を合わせたあと、ENTER ボタンを押す

インターバルタイマーが設定されます。

6 シャッターボタンを押す



最初の1枚が撮影され、これ以降、設定した時間間隔で撮影されます。

インターバル撮影中は、「インターバル」の文字が点滅します。内蔵メモリーまたはスマートメディアの容量がなくなると撮影を終了します。

補足

- 撮影中（「インターバル」の文字が点滅しているとき）は、CANCELボタンを押すとインターバル撮影を中止できます。
- インターバル撮影中でも、シャッターボタンを押すと通常の撮影ができます。設定した時間間隔はずれません。
- 画質モードやフラッシュモードの設定によっては、設定した時間より撮影間隔が長くなる場合があります。

オートブラケット撮影のしかた（オートブラケット）

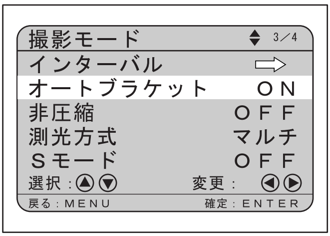
「露出を補正する（P.57）」で設定した補正値を基準に、-0.5EV、0、+0.5EVの補正値で3コマ連続して撮影します。露出補正の確認に便利です。

手ブレしないようカメラを三脚や水平な台の上に固定して撮影してください。

1 モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENUボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［オートブラケット］を選ぶ

3 ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTERボタンを押す



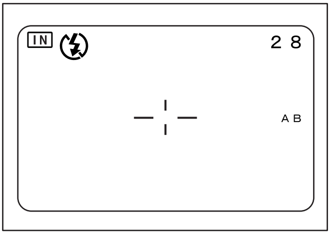
補足

- ［OFF］を選択すると、オートブラケットを解除できます。

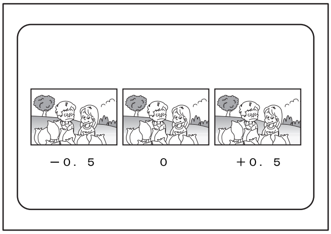
4 MENU ボタンを押す

液晶モニターに AB が表示されます。

5 シャッターボタンを押す



シャッターボタンを押すと、設定された露出補正値を基準に、-0.5EV、0、+0.5EVで3コマ連続撮影されます。



補足

- 画質モードが非圧縮(NC)、または音声付き撮影のときは、オートブラケット撮影は利用できません。
- オートブラケット撮影では、フラッシュは発光しません。

非圧縮モードで撮影する（非圧縮）

通常の画質モードは、記録の際にデータを圧縮しています。データを圧縮しないで記録するときは、非圧縮モードで撮影します。

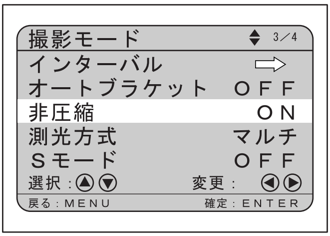
補足

- 非圧縮モードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

1 モードダイヤルを［カメラ］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［非圧縮］を選ぶ

3 ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTER ボタンを押す



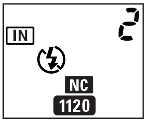
補足

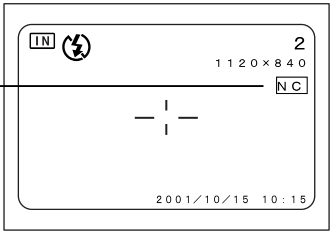
- ［OFF］を選択すると、非圧縮モードを解除できます。

4 MENU ボタンを押す

液晶モニターや液晶パネルに NC が表示されます。

5 シャッターボタンを押す





非圧縮（NC）表示

DISPLAY ボタンを押して詳細情報表示にしたとき

▶▶▶ P.42「画面表示について（撮影モード）」

●データの目安

サイズ（画素数）		NC
2272	2272 × 1704	約 7.7MB/ 画面
1120	1120 × 840	約 1.8MB/ 画面
640	640 × 480	約 614KB/ 画面

測光方式を変更する（測光方式）

カメラの測光方式を切り替えて撮影できます。

モード名	内容
マルチ	液晶モニター内をいくつかに分割して測光します。逆光時の撮影にも適しています。
中央重点	液晶モニターの中央部分を重点的に、画面全体を平均的に測光します。
スポット	液晶モニター中央の測光枠の一部分で測光します。逆光など、被写体に強い光があたるときに利用します。

1 モードダイヤルを［📷］または［▭］に合わせ、MENU ボタンを押す

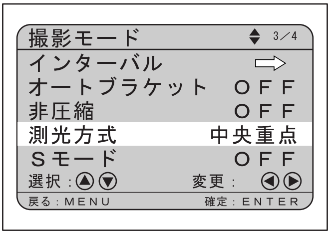
2 Ⓐボタン・Ⓥボタンを押して［測光方式］を選ぶ

補足

・測光方式の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

3

◀ボタン・▶ボタンを押して測光方式（マルチ・中央重点・スポット）を選び、ENTER ボタンを押す

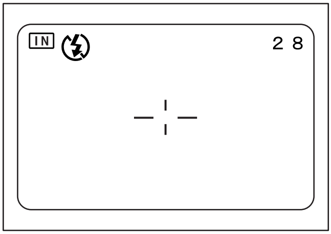


4

MENU ボタンを押す

5

シャッターボタンを押す



重要

・S モードで撮影した画像は、暗く映ることがあります。

補足

・S モードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。▶▶▶ P.105「カメラの設定内容を記憶する」

S モードで撮影する（S モード）

S モードは、スローシャッターを使わずに暗いときに手振れを軽減する撮影モードです。

1

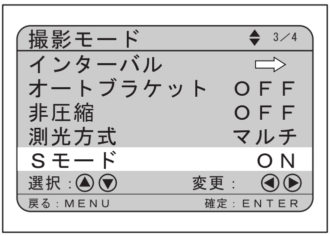
モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENU ボタンを押す

2

▲ボタン・▼ボタンを押して［S モード］を選ぶ

3

◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTER ボタンを押す



補足

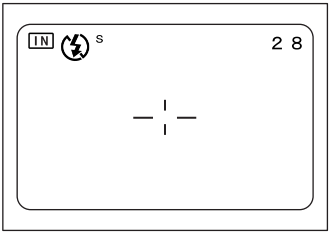
・[OFF] を選択すると、S モード撮影を解除できます。

4

MENU ボタンを押す

液晶モニターに S が表示されます。

5 シャッターボタンを押す



コラム

スローシャッターについて

暗いときに撮影すると、スローシャッター機能が働きます。シャッタースピードを遅くして、光を充分に取り込んで撮影する機能です。この機能が働くと、シャッターボタンを軽く押したときに液晶モニターに「スローシャッター」と表示されます。

長時間露光モードを設定する（長時間露光）

暗い所で、花火や走っている車などの明るい被写体を撮影するとき、長時間露光モードを設定して撮影します。

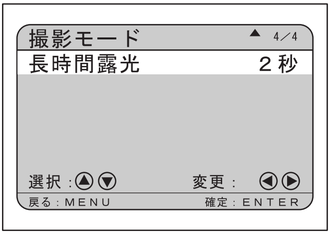
重要

・長時間露光モードでは、カメラを三脚などで固定して撮影してください。

1 モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENU ボタンを押す

2 ▲ボタン・▼ボタンを押して［長時間露光］を選ぶ

3 ◀ボタン・▶ボタンを押して露光時間（1 秒・2 秒・4 秒・8 秒）を選び、ENTER ボタンを押す



補足

・［OFF］を選択すると、長時間露光モードを解除できます。

4 MENU ボタンを押す

液晶モニターに長時間露光モードが表示されます。

補足
・長時間露光モードは、オートブラケット撮影は設定できません。
・長時間露光モードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。
P.105「カメラの設定内容を記憶する」

5 シャッターボタンを押す

